

■大田原市の学校教育③

特色ある学力向上事業

本市の学校教育を紹介するシリーズの3回目。今号は、本市の特色ある学力向上事業を紹介します。本市では、早い時期から特色ある学力向上事業に数多く取り組んできており、その一端を紹介します。



学習到達度調査・学習意識調査事業

「学習到達度調査・学習意識調査」は、平成16年度から、全国展開する民間教材会社との委託契約で実施しています。小中学校とも毎年5月に行い、調査は「学習到達度調査」と「学習意識調査」の2つからなっています。

「学習到達度調査」は、小学校2年生から6年生までは国語と算数の2教科、中学生は国語、社会、数学、理科、英語の5教科（1年生は英語を除く）を対象としています。

「学習意識調査」では、学習に対する意欲や学習習慣などがアンケート形式で問われています。

指導内容・方法の工夫改善

調査の分析結果は、学校ごとにも出されます。学校では全国平均、市平均、前年度との比較、「学習到達度調査」と「学習意識調査」との関連などを手がかりに、各学校でも独自に分析し、指導方法や

指導内容の改善に取り組んでいます。

「学習意識調査」があるため、単に点数だけの「教科学力」の分析だけではなく、児童生徒の意欲、学習習慣、生活習慣との関連から「学びの基礎力」「社会実践力」なども、数値として分析できることがこの調査の特色です。

個人の主体的な学習を目指して

調査の結果は、児童生徒に個票で戻するため、学習の到達度や学習に対する意識を客観的に認識できます。さらに、自分の取り組むべき課題が明確となり、主体的に学習しようとする意欲を持たせることに貢献しているようです。保護者も子どもの状況が把握でき、家庭での支援が明確にできるといふ声も聞かれます。



平成21年度 学習到達度調査結果

教科	小学校		中学校				
	国語	算数	国語	数学	英語	理科	社会
大田原市 (A)	77.4	78.8	78.4	71.9	77.8	69.2	70.6
全 国 (B)	76.0	74.4	63.5	54.9	59.4	51.4	53.8
全 国 比(A-B)	+1.4	+4.4	+14.9	+17.0	+18.4	+17.8	+16.8

※数値は、小学校・中学校とも全学年の平均到達度の平均

平成21年度 学習意識調査結果

内 容	小学校		中学校	
	学びの基礎力	社会的実践力	学びの基礎力	社会的実践力
大田原市 (A)	72.3	64.5	68.3	61.1
全 国 (B)	70.7	62.7	62.9	55.8
全 国 比(A-B)	+1.6	+1.8	+5.4	+5.3

※数値は、小学校・中学校とも全学年の平均

◎学びの基礎力

豊かな経験をベースとした学びに向かう力・自ら学ぶ力・学びを律する力の3つの力の総称

◎社会的実践力

家族や学校、地域の中で周囲と良好な人間関係を築き、問題を主体的に解決しながら自ら成長していく力

平成21年度の結果概要



土曜学習室事業

中学3年生の 休日の学習をバックアップ

平成18年度から休日の土曜日に中学生が学べる場を設けようと

始まりました。今年度は3年生を対象に11月から2月まで全14回。東地区公民館を会場に、午前9時から正午までの3時間、1週ごとに英語と数学の講座を交互に開きました。市内中学校12校のうち10校から36名の生徒が参加しました。



英語活動実施事業



小学校における英語活動の様子

特区での取組を継続実施

本市は、平成16年度に「英語教育特区」として認可され、平成17年度（湯津上・黒羽地区は平成18年度）からすべての小学校において、小学校1年生から6年生まで「英語活動」の時間を新設して実施してきました。

平成20年に新学習指導要領が告示され、移行期間の特例措置として「英語活動」が全国展開されたことにより、その特区の適用がなくなりました。しかし、特区の地位が引き継がれ、現在は市内すべての小学校が「特別な教育課程を編成して教育を実施できる学校（教育課程特例校）」として、小学校1年生から4年生まで「英語活

動」の時間を継続実施しています。※小学校5・6年生は、新学習指導要領の内容である「外国語活動」を実施しています。

本市「英語活動」の目標

経済、社会などのグローバル化が急速に進展しています。この21世紀を生きる子どもたちは、国際的なコミュニケーション能力を身に付け、国際社会の中で積極的に他の国の文化や生活を理解し、自信と誇りを持って外国の人々に自分の考えや意志を伝え、相互理解を図ることができる資質や能力が求められています。

また、児童期は、新しい事象に対する興味や関心が高く、外国人の行動やことばを自然に受け入れる時期にあるとも言われています。英会話能力をスムーズに習得させるためには、義務教育の早い段階から英語に慣れ親しむことが効果的であると考えられています。これらのことから、本市の目標を次のように設定しています。

大田原市「英語活動」の目標

- 英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。
- 身近で簡単な英語を聞いて理解し、自分や身の回りのことについて簡単な英語を話すことができる。
- 外国のことばや文化に対する興味・関心を深める。

習熟度別クラスで集中した学習

受講生は習熟度に応じて、問題を多く解いて応用力を高める「集中コース」と基礎学力を高める「ゆっくりコース」に分かれます。「ゆっくりコース」に比べ、問題演習と解説の授業2時間、自主学習1時間の合計3時間の学習に取り組みました。「集中コース」は解説の時間以外は、カリカリと鉛筆の音だけが聞こえる終始集中モードでした。「ゆっくりコース」では先生の解説を聞いた後、ボランティア講師と一緒に問題を解きながら、「あつ、わかった。」という喜びの声が聞こえてきました。

ボランティア講師の成果

本年度から、市内教職員と国際

各学校では、市で作成した指導計画を基に、学校や地域、子どもたちの実態に照らし合わせて学校独自の年間指導計画などを作成し、目標の実現に努めています。

「英語活動指導員」の配置

英語（外国語）活動を実施するに当たっては、児童のことをよく理解している学級担任の存在は欠かせません。児童に活発なコミュニケーションの場を与え、さまざまな国や地域の文化を理解させるなど、国際理解教育を推進するため、指導者にはある程度、英語をはじめとする外国語を聞いたり話

学校独自で土曜学習室

ここ数年は、学校で希望生徒を募って土曜日の学習をサポートしてくれるところも出てきています。平日の授業に加え、休日や部活動指導などとの合間をぬって、生徒のためにボランティアで学習指導まで行う本市の教職員の取り組みは、特筆すべきものがあります。

したりするスキルやさまざまな国や地域の文化についての知識や理解が求められます。

このため、ネイティブ・スピーカー（外国語を母国語とする人）や外国生活の経験者、海外事情に詳しい人、外国語に堪能な人の協力を得ることも必要です。

本市では、平成17年度からすべての小学校に「英語活動指導員」を配置して、担任とともにティーム・ティーチングにより授業を展開しています。平成21年度は合計16名が勤務しており、児童のコミュニケーション能力の素地を養うために尽力しています。



英語指導助手(ALT)の配置事業



英語指導助手による授業風景

英語指導助手(ALT)の配置状況

本市では、平成21年度においては合計8名の英語指導助手(ALT)が各小中学校に勤務しています。その内訳は、友好親善関係のALTとして3名(イギリス・セントアンドリュースから招聘(しようへい)しているALT1名、姉妹都市であるアメリカ・ウエストコビナから2名)、個人契約によるALT1名、派遣会社からのALT4名です。

中学校では、英語の発話や会話練習などを補助しながら、生徒たちが積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、コミュニケーション能力の基礎を養うために、英語科教員とともにチーム・ティーチングによる授業を展開しています。また、各学校

大田原市の英語指導助手(ALT)の顔ぶれ

において国際理解教育を推進することにも大いに役立っています。小学校では、中学校と同一のALTが訪問できるように、中学校区ごとに訪問日などを設定しています。ALTが訪問する時には、担任、英語活動指導員とALTを交



- ・イギリス・セントアンドリュースから招へい。
- ・平成16年8月に来日し、ALTとして6年目。平成21年度は、大田原中、若草中学区に勤務。

スティーブン バースロミュー



- ・アメリカ・ウエストコビナから招へい。
- ・平成18年8月に来日し、ALTとして4年目。平成21年度は、若草中、親園中学区に勤務。

ユウキ フクスミ



- ・アメリカ・ウエストコビナから招へい。
- ・平成19年8月に来日し、ALTとして3年目。平成21年度は、黒羽中、須賀川中学区に勤務。

スペンサー パーツ



- ・イギリス・ロンドン出身。
- ・平成13年8月に来日し、本市ALTとして3年目。平成21年度は、野崎中、湯津上中学区に勤務。

アンドリュー ペイツ

えた3人体制で授業を行っています。通常よりもコミュニケーションの場が広がり、個々の児童に応じた見取りや支援ができ、効果も上がっています。児童たちもALTの訪問を楽しみにしており、授業以外の休み時間などでもALT

ALTの顔ぶれ

本市における友好親善関係のALT(3名)と個人契約のALT(1名)は、上の写真のとおりです。もし街中で見かけたときは気軽に声をかけてください。

問い合わせ

TEL (98) 7113
学校教育課 学校教育係

那須地区 体育協会・文化協会 体育指導委員協議会

▼解散

栃木県教育委員会事務局の組織再編により、那須教育事務所内にあった3つの団体の事務局が次のように変わります。

● **那須地区文化協会**

各市町において、2年ごとの持ち回り(平成22年度から輪番) 大田原市↓那須町↓那須塩原市

● **那須地区体育協会**

各市町教育委員会において、2年ごとの持ち回り(平成22年度から輪番) 那須塩原市↓大田原市↓那須町

● **那須地区体育指導委員協議会**

平成22年2月20日をもって解散

■ **問い合わせ**

TEL (23) 2177
那須教育事務所ふれあい学習課